

# 機械実習

教科	工業	単位数	3	学科・学年	機械科1年生
使用教科書	「工業技術基礎」(実教出版)			副教材等	自作テキスト

## ◇ 学習の到達目標 ◇

機械技術に関する基礎的な技術・技能を身に付け、各分野の実習課題を通して総合的な理解を深めます。

## ◇ 科目の特色 ◇

年間を通して四つの実習課題をローテーションします。実習班は1班が約10名で構成され、機械技術に関する科目で習得した知識や能力を実際の作業を通して総合的に学習し、協調・責任・勤労など技術者として望ましい態度や習慣を身に付けます。

## ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4   6	1. 旋盤1実習	・旋盤作業に関する基本操作を習得し、段付き丸棒の製作を行う。
7   9	2. 溶接実習	・アーク溶接、ガス溶接、炭酸ガス溶接の知識と操作方法を学習する。
10   12	3. 鋳造実習	・鋳造加工の知識・技術を学習し、鋳型製作、アルミニウムの溶解・鋳込みを行う。
1   3	4. 自動車整備実習	・中日本自動車短期大学で自動車の構造を理解し、基本整備作業や各種装置について学習する。

## ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	各実習に関心を持ち、その基礎的な知識と技術の習得に向けて意欲的に取り組む態度を身に付けているか。
思考・判断・表現	各実習に関する事柄の理解を深め、基礎的な知識を活用して、適切に判断することができるか。そして具体的に表現することができるか。
技能	各実習に関する知識を身に付け、技能を習得しているか。
知識・理解	各実習に関する事柄を知り、知識を深め、性質等を知ることができるか。

このため、具体的には次のものを対象とします。

①学習態度 ②製作作品 ③実習レポート

また1年間の評定は、前期・後期を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

## ◇ 担当者からのメッセージ ◇

安全作業に十分努めて、正しい服装・整理整頓に心がけて実験実習を行いましょう。また、実験実習後のレポートの提出期限を守りましょう。